



—北アフリカ地域ニュース—

エジプト：ムバーラク大統領の訪米延期

(5月21日付現地各紙)

21日付エジプト各紙はムバーラク大統領の訪米延期に関して報じている。概要は以下の通り。

1. 5月26日より予定されていたムバーラク大統領の訪米が大統領の孫の逝去を理由に延期された。
2. オバマ米大統領とミシェル夫人はムバーラク大統領、夫人及び家族に対し弔意を表明した。ホワイトハウスの声明は、オバマ大統領は6月初旬のエジプト訪問でムバーラク大統領に会えることを楽しみにしていると述べた。
3. シュクリ駐米エジプト大使発言
  - (1) ムバーラク大統領の訪米延期に関しては、既にホワイトハウスに伝達した。
  - (2) 我々は、ムバーラク大統領の孫の逝去に関するお悔やみと弔意を各方面より受け取り感謝している。ムバーラク大統領訪米の日程については再調整を行う。
4. ムバーラク大統領訪米延期に関するエジプト国内の反応
  - (1) ムハンマド・シャーキル・エジプト外交評議会理事は、今回の訪問延期は米政権も理解してくれるだろうと述べ、オバマ米大統領のエジプト訪問時に今回の事情についてはお互いが共有できるだろうと述べた。
  - (2) アブドル・ハキーム・マフムード・アズハル大学教授は、今回の延期は自然な事であると述べ、ムバーラク大統領が落ち着くまで訪問は延期する事が望ましいと述べた。マフムード教授はイスラム教も心身の安定は全ての基本であると述べており、同大統領が適切と判断するまで訪問を延期する事は、イスラム教及びイスラム教徒の利益だけではなく、パレスチナ問題の進展にとっても重要であると述べた。
  - (3) ムナー・ムカッリム・アビード・カイロ・アメリカン大学教授は、6月初旬のカイロでの両大統領の会談時に、今回の訪米中に予定されていた協議が行われるだろうと述べ、現在米政権はムバーラク大統領の様子を見ているのだと思うと述べた。